

関係各位

愛知県農業総合試験場長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について(送付)
このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。
記

平成30年度病害虫発生予報第11号

担当 環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085
内線 471
ファックス 0561-63-7820

平成30年度病害虫発生予報第11号

平成31年2月1日
愛知県

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
タマネギ	白色疫病	やや多い	県全域	1月下旬の発生量はやや多い 2月の降水量はほぼ平年並	±
	べと病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 (発生を認めていない) 2月の降水量はほぼ平年並	±
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	±
	灰色かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	±
ナス (施設)	すすかび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	±
	うどんこ病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並	±
キュウリ (施設)	べと病	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない 2月の日照時間はほぼ平年並	-

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
キュウリ (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	ミナミキイロ アザミウマ	やや多い	県全域	1月下旬の発生量はやや多い	+
イチゴ (施設)	灰色かび病	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない 2月の日照時間はほぼ平年並	- ±
	うどんこ病	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない	-
	ハダニ類	少ない	県全域	1月下旬の発生量は少ない	-

・防除対策

〔タマネギ・白色疫病〕

2～3月が温暖で多雨の場合、発生が多くなります。発生を確認したほ場では、リドミルゴールドMZやプロポーズ顆粒水和剤／ワイドヒッター顆粒水和剤など治療効果のある薬剤で防除しましょう。

〔キュウリ・ミナミキイロアザミウマ〕

日射量が多くなり、ハウス内の気温が上がってくる季節です。本種の増殖スピードが速まるので、ほ場での発生に注意し、アフーム乳剤やアドマイヤー顆粒水和剤などで防除しましょう。天敵を導入する予定がある場合は、影響日数に注意して農薬を選定しましょう。本種はキュウリ黄化えそ病の病原ウイルス（MYSV）を媒介するので、防除を徹底しましょう。

・留意事項

イチゴのハダニ類は、多発すると防除が困難になるので、早めに防除しましょう。天敵を導入している、あるいは導入を予定している場合は、それらの影響日数に注意して農薬を選定しましょう。

発生量に関する用語については、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/yougo.html>）を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台1月31日発表）

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率>

〔気温〕 低い：10% 平年並：30% 高い：60%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：30% 多い：40%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%